

令和6年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田万世会館	所在地	千代田区外神田一丁目1番7号
-----	---------	-----	----------------

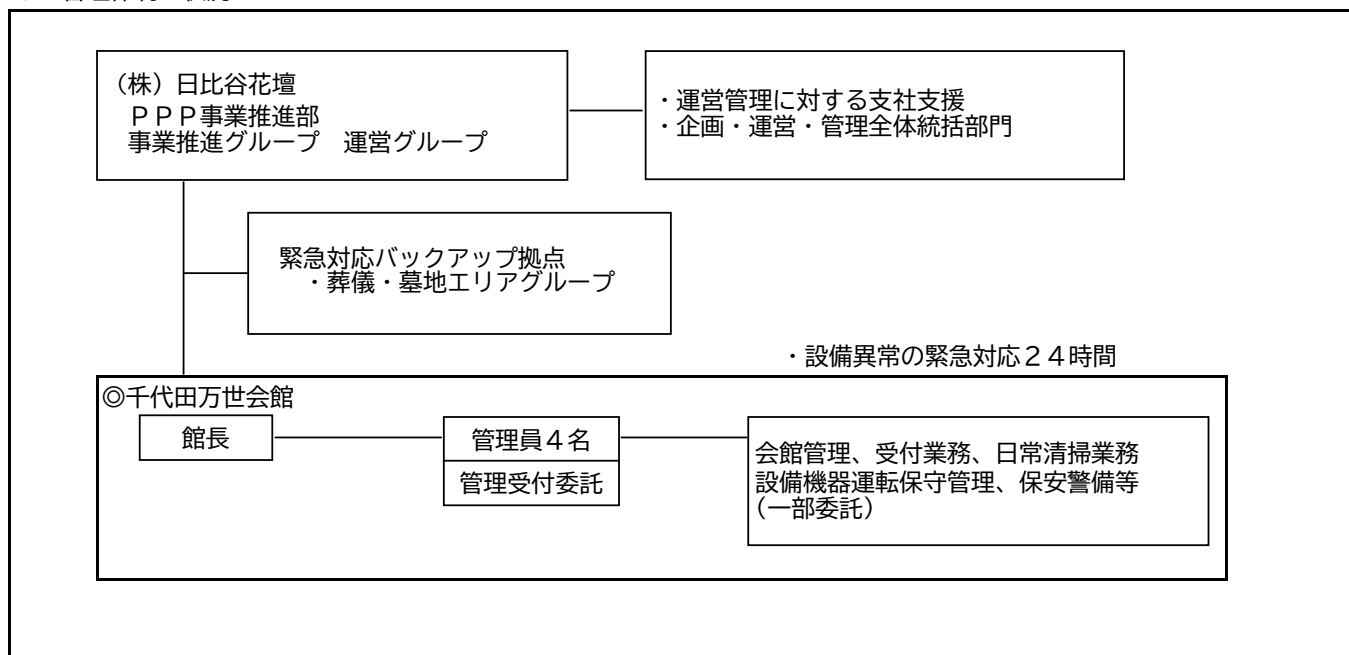
1 指定管理者の概要

名 称	株式会社日比谷花壇	代 表 者	代表取締役 宮島 浩彰
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民に葬儀および法要の場を提供し、区民福祉の増進を図る。
管 理 業 務 の 内 容	・千代田万世会館の施設の利用承認等に関する業務 ・会館の保守及び維持管理に関する業務 ・会館の運営に関する業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

令和6年度	①葬儀利用 ※は1日1組の葬儀とし 休館日を除いた日数	②遺体保管用冷蔵庫 ※は1日2遺体利用とし た延べ日数	③会議・法要利用 ※は休館日を除いた日数
(A) 利用可能日数※	357日	732日	357日
利用件数	74件	54件	22件
(B) 利用日数	137日	302日	22日
利用率(B) / (A)	38.4%	41.3%	6.2%

※休館日：令和6年度は年始（1月1日・2日）及び奇数月最終友引日等の合計8日

【参考】過去3年間の実績	①葬儀利用		②遺体保管用冷蔵庫		③会議・法要利用
令和5年度	69件	129日	58件	288日	24件
令和4年度	77件	133日	52件	234日	19件
令和3年度	72件	127日	56件	234日	2件

イ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務（害虫駆除含む） ・消防設備等保守
- ・警備業務 ・音響設備保守 等

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	24,724,000円	人件費	10,511,151円
利用料金	7,773,500円	維持管理費	10,824,149円
その他（自動販売機売上収入）	46,644円	運営費	4,093,035円
合計（①）	32,544,144円	合計（②）	25,428,335円
収支差額（①－②）	7,115,809円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
利用促進施策として以下を実施した。 ①今から始める終活講座 令和6年度は、各回の参加者の様子やアンケートを確認しながら3回実施した。講座の内容によって、参加者数の増減が見て取れ、参加者の興味の対象が確認できた。また、講座の実施により当館の認知向上にも繋がったと思われる。 ②付帯設備（遺体安置用冷蔵庫）利用料金体系見直しについての検討 付帯設備の利用料金体系については主だった利用者との対話を重ね、それをもとに検討した結果、現状維持とした。利用者の要望にしっかりと対応することができた。 ③感染症拡大防止 引き続き感染症拡大防止に努めた。感染症の脅威は減少したとはいえ、公共の施設であり、大勢の来館者が見込まれる施設でもあることから対策は引き続きしっかり行った。来館者も安心して当館を利用できたと思われる。 ④近隣コインパーキングのサービス券配布 予てより利用者から改善要求があった駐車場についてだが、近隣コインパーキングのサービス券配布を検討しこれを開始した。これにより利用者から感謝の言葉をいただくことができた。利用者の不満を一部解消することができたと思われる。 令和6年度は、自主事業として当館の認知向上や独自コミュニティの形成を目的としたフラワーアレンジメント講習を6日間、計15回実施した。参加者数は回を追うごとに増加し当館の認知度は確実に向上したと思われる。また、アンケートや利用者との会話をもとに1日の開催数を2回から3回へと増加させた。利用者の要望を汲み取ることができた。	令和6年度利用料金収入は、7,773千円、計画対比95.1%とわずかに計画に及ばなかった。前年度と比較すると約933千円の増額、13.6%の増加となった。支出は、計画対比▲4,108千円、約14%のマイナスとなった。これは、夜間常駐業務の見直しの影響によるものと言える。 葬儀式利用料は前年度対比116.6%となり、増加となった。また、会議・法要も利用団体が定着し、前年度対比106.3%とわずかに増加した。更に、付帯設備（遺体安置用冷蔵庫）利用も前年度対比で104.8%と微増した。これは、利用日数の増加によるものである。 支出に於いては、電気料金高騰の影響が続いており、光熱水費利用量が前年度とほぼ同様にも関わらず、前年度対比が111.0%という結果となった。また、委託費が前年度対比で大幅な減少を見せた。これは、夜間常駐業務の見直しに拠るところが大きい。消耗品費も前年度対比52.8%と減少しており、これは消耗品の節約等で購入量が減少したためである。一方で、その他の項目は前年度比180.5%と増加している。これは利用促進の一環として近隣コインパーキングの駐車サービス券を会館利用葬儀社に配布開始するための購入費用である。 今年度は、利用料金収入の増加及び夜間常駐勤務を見直したことによる委託費の大幅な減少により、最終的な収支は前年度比273.1%、計画対比212.9%となった。経費の削減に大きく貢献した年度となった。

7 区による評価・業務改善要求

利用者が安心して施設を利用できる環境整備や自主事業による万世会館周知に努めており、高く評価できる。月次の区への報告は、利用者や葬儀内容に関して指定管理者の視点からの的確に分析しており、信頼性の高い内容である。施設管理においては、設備保守点検による不具合の早期発見や計画的な修繕の実施により安全性が確保されているほか、会館利用者である葬儀社の意見に迅速に対応している。
--

8 今後の指定管理に区が期待すること

葬儀規模は、今後も縮小傾向となっていくことが想定される。万世会館は中・小規模葬儀に適している施設であることをアピールするとともに、これまでの運営ノウハウを活かした利用者サービスの提供や会議室のさらなる活用を引き続き期待する。
